

ごあいさつ

11月の定例会は、十文字学園女子大学での対面実施ができ、対面参加は38名、Zoom参加は3名、41名に参加いただきました。会の冒頭、山田喜美江先生を偲び、黙祷を行いました。山田先生は、障害のある方への指導にも熱心に取り組まれました。この日、多田先生は手話をダンスムーブメントにつなげられました。熱心に取り組まれる皆様の姿に、山田先生の思いが継承されていくのを感じました。

飯田 路佳

12月定例会

○日時：12月10日（土）13時30分～15時00分

※対面で行ないます。Zoom配信も行います。13時にZoomのIDをお知らせします。

○場所：十文字学園女子大学 記念ホール1階 サブアリーナ

※健康チェックは事前にURLをお知らせしますので、自宅を出る前に入力を済ませてください。

※大学側から、健康チェックの徹底を求められています。受付で、健康チェックを完了されているか、確認させていただいています。ご協力ください。受付での対応も可能ですので、お申し出ください。

※大学の施設利用において、検温は必須となっています。サブアリーナ入り口で検温をお願いします。

○内容：ダンスムーブメント 「90年代ウィンターソングで楽しむダンス」

※誰もが耳にした事のある有名楽曲「グレンデが溶けるほど恋したい」（広瀬香美）を振付をします。

ストリートダンスを主とした振付ですが、一定リズムで踊るだけではなく、曲中の特定の楽器や打ち込み音に合わせ表現する「音ハメ」と呼ばれるような振付、また、歌詞を分かりやすく表現するような振付も含んでいます。

講師：染野 陽介 染野先生は、埼玉を中心に、幼児から大人まで幅広いレッスンを展開されています。十文字学園女子大学のダンス部の指導もしていただいています。12月の定例会の講師は、三代川 葉子先生を予定していましたが、お母様が逝去され、講師対応は難しいため、染野先生に講師をお願いしました。

【定例会当日の流れ】

※ 車を利用される方は、第1駐車場に車をとめ、JSRML 関係車両カードを外から確認できる位置に置き、正門にまわり、正門の警備に来校を告げ、記念ホールに向かってください。駐車証をお持ちでない方は、受付で手続きをし、臨時駐車証を受取り、対応してください。

※ 他の交通機関を利用される方は、正門の警備に来校を告げ、記念ホールに向かってください。

12:45～ 受付

※ 受付は、記念ホール1階のサブアリーナ入口付近に設置します。検温、手の消毒を済ませ、受付をしてください。

※ 体育倉庫の指定された場所に荷物を置いてください。準備ができた方は、サブアリーナで実技開始をお待ちください。更衣は原則サブアリーナ、体育倉庫でお願いします。事情があり、1階の更衣室を使われる場合にも、ロッカーは使用できません。

※ サブアリーナフロアの周囲には、密にならないよう一定の間隔を置いて椅子を配置しています。自分の場所を決め、タオル、水筒等を置いてください。

13:30～ 実技

※ 運動中にも水分がとれるよう準備してください。マスクの着脱は自己管理でお願いします。

15:00 終了

11 月定例会報告

2 山田喜美江先生を偲んで…

在りし日の山田先生の映像を視聴しました。高橋先生が、山田先生への思いを語ってくださいました。全員で黙祷をし、山田先生を偲びました。

1 飯田先生、開会の挨拶



【高橋先生より】

充実した人生でした。障害者の方々のためのプログラムにも力が入られました。突然の訃報は、ショックでした。山田先生の人生は、やりきった人生でした。安らかにお眠りください。

3 講師は多田先生。作品の解説です。

4 ミュージックビデオ「僕が君の耳になる」視聴。



【解説】手話から全身を使ったダンスムーブメントへ広がっていく過程を理解し、楽曲の世界観を表現する。全身で一筆書きをしているように動きを途切れさせないで、強弱・メリハリをつけて踊る。二人で踊る場面では、手話で会話をしているように踊り合う。



5 ウォーミングアップ やや気温が低かったため、エアロビで準備運動。



【感想】手話でのダンス素敵です！曲がいいですね。多田先生の持ち味元気さありがとうございます😊楽しい時間でした

【感想】手話とても勉強になります。覚えてみたいと思いました。多田先生の指導もとてもわかりやすくこれからの社会体育の必要とされる講習会で、また受けたいと思いました。



【感想】手話ダンスが更に深くバージョンアップ。動きの展開、流れが素晴らしく、疲れも吹き飛ばし楽しさでした。ジャズダンスの定番ステップやヒップホップの動きも無理なく繋がっていて楽しめました。



- 6 作品の踊り込み 曲は「僕が君の耳になる」(作詞：中村泰輔、作曲 HANDSIGN) 構成は、A-B-C-D-E-A-B-C-D-E-A-F-A-A-B。手話を確認しながら、踊りこみます。覚えた手話は、14 種類。



- 7 主要な部分を一気に押さえ、休憩です。



【感想】五月先生の作品は主人公になりきって踊れるので「ドライフラワー」のように、とても楽しめました。今回は聞こえない女性になって踊ってみました。ハッピーエンドでしたので、幸せな気持ちになりました。手話にも触れて充実した時間でした。

- 8 後半の踊り込み。まず、100の手話の確認。手話の動きが、ダンスムーブメントに広がります。



- 9 2人で踊る場面が加わり、作品全体が温かく包まれていきます。



【感想】昔習った手話を思い出しながら、それをダンスに取り入れる手法に感動しながら、楽しく踊ることが出来ました。



【感想】手話とダンスムーブメントを上手く融合させていて、動きがとてもきれいでした。

10 最後に通して踊りました。思いをこめて踊ります。山田先生、見ていてくださったことでしょう。



【感想】楽しく手話ダンスが出来ました。やはり対面は見て勉強になりますね。有難うございました。

【感想】手話は難しいと思っていましたが、楽しく踊れました！五月先生の歌声と振り付け、とっても素敵でした。心地よい汗と満足感いっぱいです。



11 クールダウン 動き続けた 1 時間 30 分でした。お疲れ様でした。



【感想】とても興味深い内容のダンスで素敵でした。軽快なリズムで楽しく 五月先生のコールのおかげで何とかついていけたかな？という感じです。この頃歳のせい？で順番がスッと入ってこなくなりました。あと途中 前後の入れ替わりがあった方が良かったかなと思います。2 時間があったという間に過ぎていて時計を見てびっくりです。いい汗かきました。

【インストラクター特別研修のお知らせ】

今年度は、コロナの感染状況により、急な変更が入る場合もあるため、特別研修の講師は、外部講師とせず、佐藤 廣子先生、高橋 眞琴先生に対応いただきます。2022 年を締めくくるすてきな研修となることでしょう。申込み受け付け中です。

○日時：12月11日（日） 10時00分～16時00分 ※受付は9：30～

○場所：十文字学園女子大学 記念ホール サブアリーナ

○内容：

＜午前＞ 講師：佐藤 廣子

1. ボディメンテナンス（自分らしく動き続けるための提案として）
2. ダンスムーブメント（作品：生命の奇跡復習）

＜午後＞ 講師：高橋 眞琴

1. シニアが楽しむために（アイスブレイクのヒント）
2. ダンスムーブメント（作品：過ぎ去りしあの日あの時）

○参加費：3000 円（昼食はそれぞれでご用意ください。）

○申込み方法

問い合わせ先まで参加の連絡を入れ、研修会当日、申込書と参加費を提出ください。

○問い合わせ先：西田 晶子 携帯 080-4871-9124

対面の実施となります。